

令和6年度 横浜市阿久和地区センター事業計画書

1 設置目的を踏まえた管理運営計画

地区センターは、地域の住民が自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、スポーツ、レクリエーション、講演会、サークル活動などを通じて相互交流を深めていくことを目的としています。

(1) 地域コミュニティの醸成

阿久和における地域住民のコミュニティを醸成するため、当館利用団体の活動紹介、会員募集の支援を行い、さらには成果発表と交流の場として、地区センターまつりを開催します。地域の方が気軽に参加できる自主事業を企画・実施し、その参加者が引き続き新規団体となり、利用しやすいように優先申込制度を活用します。

(2) 地域連携の促進

当館が地域連帯促進の核となるべく、市広報紙、センターだより、ホームページ、SNS などあらゆる媒体を活用し、活動団体や各種事業などの情報発信をしていきます。

また、地元自治会や地域ケアプラザ、子育て支援団体との共同事業を実施します。瀬谷地区センターをはじめコミュニティスクール、図書館などとの情報共有を図ります。

2 地域特性、地域ニーズを踏まえた管理運営計画

阿久和地区は、比較的高齢化が進み、緑豊かな瀬谷区の南部に位置し、旭区と泉区に隣接しています。当館の近隣には、小・中・高の学校があり、利用者は、区内高齢者や児童、生徒のほか、区外からの利用があります。

(1) 地域特性を踏まえた管理運営

健康増進と交流のためのカラーリング交流会など、地域の組織が行う公益的活動に協力していきます。また、近隣の教育機関と連携した自主事業を企画・実施するとともに、地区センターまつりなどの機会を捉えて、吹奏楽他、生徒たちが日頃から活動している成果発表の場を提供します。

(2) 地域ニーズからの要請

瀬谷区民意識調査（令和元年度）では、「災害の取組」「高齢者」「子育て」が関心の高い項目としてあがっています。災害時には、瀬谷区との協定に基づき、福祉避難所を開設します。併設される阿久和地域ケアプラザと連携し、高齢者に関心を持っていただけの事業を企画・実施します。ワンパク事業を子ども向けに行うとともに、地域における子育てを支援するため、瀬谷区こども家庭支援課と連携し、地域子育て相談（毎週水曜日）を実施します。

3 施設の安全性、安定的な維持管理計画

当館は、開設から28年目が経過し、随所に劣化が認められます。安全・安心・清潔・快適な施設管理を目指すとともに、横浜市と連携し、施設の長寿命化を図ります。

(1) 維持管理の考え方

建築物定期点検（12条点検）、施設管理者点検（市公共施設管理基本方針）、設備保

守嘱託職員による巡回設備点検、各種法定点検などにより、不具合箇所を把握し、瀬谷区、協会などと協議のうえ、安全性・緊急性を考慮し、優先順を付け、順次、修繕を実施します。

(2) 予防保全

設備保守嘱託職員による施設点検を実施し、不具合箇所を早期に見つけ対処するという予防保全を実現することで、利用する方にとって安全・安心な維持管理に努めつつ、経費節減を図ります。

(3) 長寿命化工事

令和6年度は、市長寿命化工事による引込開閉器等更新工事と防災設備更新工事の実施を予定しています。

4 利用者ニーズの把握、サービス向上策、利用促進策

あらゆる機会を捉えて、利用者からのニーズを把握してまいります。それら多種多様なご意見を館内スタッフ、当法人他施設などと共有し、サービス向上へ結びつけることで、利用促進を図ります。

(1) 利用者ニーズの把握

アンケートを毎年実施するほか、利用者会議での意見交換や利用者の方との窓口等におけるふれあいなどを通じて、幅広い年齢層からの多様なニーズを把握していきます。

(2) サービス向上策

令和3年度に導入したインターネット予約システムの検証を行い、必要に応じ改修していきます。また、インターネット環境を持たない利用者に向けて、受付でiPadを活用したサービス提供を検討します。館主催行事の開催や利用制限の発生など、市広報紙、センターだよりだけでなく、ホームページやSNSにより、いち早く情報提供していきます。

(3) 利用促進策

市広報紙、センターだより、ホームページ、SNSなどあらゆる媒体を活用し、当館や事業の情報を発信することで、集客を図ります。地域コミュニティ紙などへの情報提供を積極的に行います。おもしろ何でもチャレンジ(7月)や地区センターまつり(2月)といった全館イベント、ハロウィン(10月)やクリスマス(12月)での集客を通じ、当館を知ってもらうことで利用を促進します。また、将来を見据え、近隣の子どもたちに利用してもらえるように、中学校、小学校、幼稚園、保育園などへの当館PRを積極的に行います。

5 自主事業計画

仲間づくり等を通じた地域コミュニティ醸成や、利用促進に繋げるため、幼児から高齢者まで地域の方が気軽に参加できる幅広い分野の自主事業を企画・実施します。

(1) 自主事業

あらゆる世代を対象にした自主事業では、音楽と脳のトレーニングを融合した教室や多世代に向けたヨガ教室、地元人気店舗によるお菓子づくりなど、多彩な事業を繰

り広げます。(計 50 回開催予定)

(2) ワンパク事業

子どもを対象にしたワンパク事業では、地域の人材を活用した講座や、近隣の高校生が講師となり子どもたちに科学の楽しさを教えるおもしろ何でもチャレンジなどを実施します。(計 17 回開催予定)

(3) 国際園芸博覧会開催へ向けた機運醸成

3 年後に迫った国際園芸博覧会開催へ向け、瀬谷区南部においても機運を醸成するため、みどりアップ計画に基づく自主事業を行います。また、国際園芸博仕様のせやまるオブジェの展示を行います。

6 その他

(1) 緊急時対応

緊急時には、横浜市防災計画及び瀬谷区防災計画を踏まえ整備した各種マニュアルに基づき、迅速かつ的確な対応を行います。

(2) 個人情報保護

横浜市個人情報の保護に関する条例を遵守するため、スタッフ全員を対象に個人情報保護研修を年度早期に実施し、適正に管理します。

(3) 人権尊重

公共施設としての当センターの設置目的を果たすため、人権を尊重します。そのため、スタッフ全員を対象に人権研修を実施します。

令和6年度 阿久和地区センター自主事業計画書

No	教 室 名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算（円）
1	阿久和カラーリング交流会	どなたでも	30名	4月～3月	12	10,000
2	エンディングノート	どなたでも	20名	未定	1	0
3	お金の勉強	どなたでも	20名	5月	1	10,000
4	お菓子工房Keimin「春のスイーツ」	成人	12名	5月	1	12,000
5	癒しのヨガ	どなたでも	20名	5～9月	5	42,000
6	音楽で脳トレ～楽しく認知症予防～	どなたでも	30名	5～10月	6	38,000
7	小さな盆栽教室	どなたでも	10名	6月	1	10,000
8	ケアプラザ共催体力測定・ハマトレ体操	どなたでも	40名	5・10月	2	3,000
9	大人のアイシングクッキー	どなたでも	16名	6月	1	15,000
10	スマホ教室	どなたでも	20名	7月	1	10,000
11	夏のミニコンサート	どなたでも	50名	7月	1	40,000
12	竹細工教室	どなたでも	20名	7月	1	14,000
13	包丁研ぎ講座	どなたでも	8名	8月	2	16,000
14	地域の散策	どなたでも	20名	9～12月	3	30,000
15	歴史探訪＋事前学習	どなたでも	20名	10月	2	36,000
16	お菓子工房Keimin「秋のスイーツ」	どなたでも	12名	10月	1	12,000
17	自主・ワンパク共催事業HAPPYハロウィン	どなたでも	当日直接 50名	10月	1	30,000
18	クリスマスのツールペイント	どなたでも	16名	11月	1	28,000
19	クリスマスの料理教室	どなたでも	15名	12月	1	15,000
20	自主・ワンパク共催事業HAPPYクリスマス	どなたでも	50名	12月	1	14,000
21	HAPPYクリスマスミニコンサート	どなたでも	30名	12月	1	40,000
22	昔ながらの味噌作り	どなたでも	12名	1月	1	25,000
	※1 市民が森に関わるきっかけづくり 事業(みどりアップ計画)		20名	未定	4	委託事業費
	※2 第26回センターまつり	どなたでも		2月	1	ニーズ対応費
合 計					47	450,000

令和6年度 阿久和地区センター自主(ワンパク) 事業計画書

No	教 室 名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算 (円)
1	こどもパン教室	小学4～6年	12名	5月	1	23,000
2	ペーパークラフト	小学生	12名	6月	1	12,000
3	おもしろ何でもチャレンジ「科学教室」	幼児～小学生	50名	7月	1	ニーズ対応費
4	夏休み陶芸教室	小中学生	12名	8月	1	20,000
5	ボイストレーニング	小学1～3年生	8名	9月	4	31,000
6	自主・ワンパク共催 HAPPYハロウィン	どなたでも	当日直接 50名	10月	1	20,000
7	子ども陶芸教室	小中学生	12名	11月	1	20,000
8	自主・ワンパク共催 HAPPYクリスマス	どなたでも	当日直接 50名	12月	1	10,000
9	チョークアート	小学生	16名	12月	1	17,000
10	子どもダンス教室「ヒップホップを踊ろう」	小学生	12名	1月	3	33,000
11	第26回センターまつり「ヒップホップを踊ろう」&ワークショップ	小学生	12名	2月	1	14,000
合 計					16	200,000

令和6年度 阿久和地区センター自主事業(共通)計画

(ニーズ対応費で対応)

No	教 室 名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算 (円)
1	おもしろ何でもチャレンジ「科学教室」	幼児～小学生	事前申込制	7月	1	220,000
2	センターまつり	どなたでも	自由参加	2月	1	300,000
合 計					2	520,000

令和6年度 「横浜市阿久和地区センター」 収支予算書兼決算書
(令和6.4.1～令和7.3.31)

収入の部						(税込、単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	42,028,000		42,028,000		42,028,000	横浜市より
利用料金収入	2,900,000		2,900,000		2,900,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	273,000		273,000		273,000	
自主事業収入	0		0		0	
雑入	783,000	0	783,000	0	783,000	
印刷代	70,000		70,000		70,000	
自動販売機手数料	620,000		620,000		620,000	
駐車場利用料収入	0		0		0	
その他（カラオケ使用料・預金利息等）	93,000		93,000		93,000	
収入合計	45,984,000	0	45,984,000	0	45,984,000	
支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	23,625,000	0	23,625,000	0	23,625,000	
給与・賃金	21,206,000		21,206,000		21,206,000	館長・副館長及び時給職
社会保険料	1,935,000		1,935,000		1,935,000	
通勤手当	286,000		286,000		286,000	常勤職員
健康診断費及びインフルエンザ予防接種補助	60,000		60,000		60,000	常勤職員・時給職員
勤労者福祉共済掛金	18,000		18,000		18,000	
中小企業退職金共済掛金	120,000		120,000		120,000	
事務費	2,370,000	0	2,370,000	0	2,370,000	
旅費	10,000		10,000		10,000	出張旅費
消耗品費	875,000		875,000		875,000	事務消耗品費
会議ठीい費及び諸費	21,000		21,000		21,000	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	224,000		224,000		224,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	482,000	0	482,000	0	482,000	
横浜市への支払分	82,000		82,000		82,000	目的外使用料等
その他	400,000		400,000		400,000	
備品購入費	100,000		100,000		100,000	
図書購入費	400,000		400,000		400,000	
施設賠償責任保険	36,000		36,000		36,000	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	202,000		202,000		202,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	地域イベントの協力費等
事業費	923,000	0	923,000	0	923,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	923,000		923,000		923,000	
自主事業費	0		0		0	イベントの実施
管理費	14,781,000	0	14,781,000	0	14,781,000	
光熱水費	7,140,000	0	7,140,000	0	7,140,000	
電気料金	3,850,000		3,850,000		3,850,000	
ガス料金	2,350,000		2,350,000		2,350,000	
水道料金	940,000		940,000		940,000	
清掃費	2,760,000		2,760,000		2,760,000	日常・定期清掃費
修繕費	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
機械嘗備費	345,000		345,000		345,000	
設備保全費	3,536,000	0	3,536,000	0	3,536,000	
空調衛生設備保守	1,515,000		1,515,000		1,515,000	
消防設備保守	64,000		64,000		64,000	
電気設備保守	568,000		568,000		568,000	
害虫駆除清掃保守	43,000		43,000		43,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費・その他委託費	1,346,000		1,346,000		1,346,000	植栽管理・給水設備・ルート回収・ピアノ調律等、第三者評価
共益費	0		0		0	
公租公課	2,119,000	0	2,119,000	0	2,119,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	2,119,000		2,119,000		2,119,000	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	1,200,000	0	1,200,000	0	1,200,000	
本部分	1,200,000		1,200,000		1,200,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分	0		0		0	
ニーズ対応費	966,000		966,000	0	966,000	
支出合計	45,984,000	0	45,984,000	0	45,984,000	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

目標設定・自己評価合体版

令和6年度阿久和地区センター自己評価表

目標設定 の視点	あ 計画内容及び運営目標 第29条第1項・第2項 第38条第1項・第4項	い 計画内容及び運営目標 に対する実績	う 今後の取組 (改善計画) 第29条第2項 第38条第4項	え 自己 評価
利用者 サービス	事業計画書 (2)イ 地域特性、地域ニーズ ・近隣の教育機関と連携した自主事業を企画し、実施します。また、地区センターまつりなどの機会を捉えて、吹奏楽他の成果発表の場を提供します。 ・地元自治会などが普及を促進しているカローリングの交流会を、地域組織と地域ケアプラザと連携し、通年で実施します。			第38条第1項
	(2)ウ 公の施設としての管理 ・部屋利用の公平性を確保するため、登録、利用に関するルール等を厳格に運用します。 ・インターネット予約ができない環境の利用者に向けて、受付でiPadを活用したサービス提供を検討します。			
	(4)エ 利用者ニーズの把握と運営への反映 ・アンケート、利用者会議、窓口での聞き取りなどあらゆるツールを活用し、利用者ニーズの把握を行います。 ・利用者ニーズ等を実現させるため、予算に優先順位を設け、可能な事案から随時、実施していきます。 ・把握した利用者ニーズを当法人他施設と共有し、第三者的な意見を踏まえ、よりよい対応を検討するとともに、他施設のサービス向上にも生かします。			

	(4)オ 利用者サービス向上の取組 ・令和3年度に導入したインターネット予約システムの検証を日常的に行い、必要に応じ改修していきます。 ・館主催行事の開催や利用制限の発生など、市広報紙、センターだよりだけでなく、ホームページやSNSにより、いち早く情報提供していきます。 ・利用者の安全対策については、市対応方針や各種ガイドラインを遵守することはもちろん、当館の実情に合わせた対策を講じます。			
業務運営	事業計画書 (3)ア 管理運営に必要な組織、人員体制 ・常勤職員3名（館長・副館長）、コミュニティスタッフ12名の計15名体制を確保し、開館時は常時3名以上（含常勤1名）で運営を行います。			
	(3)ウ 緊急時の体制と対応計画 ・緊急時には、横浜市防災計画及び瀬谷区防災計画を踏まえ整備した各種マニュアルに基づき、迅速かつ的確な対応を行います。 ・スタッフ総出の消防訓練を、併設されている地域ケアプラザ、阿久和消防出張所と連携して年2回実施します。 ・近隣の地域防災拠点で実施される防災訓練に参加し、災害時の地域との協力体制を確認します。			
	(4)ア 設置理念を実現する運営内容 ・地域コミュニティ醸成のため、利用団体の活動紹介、会員募集の支援を行い、さらには成果発表と交流の場として、地区センターまつりを開催します。 ・地域連携を促進するため、地元自治会や地域ケアプラザ、子育て支援団体との共同事業を実施するとともに、瀬谷地区センターはじめコミュニティスクール、図書館などとの情報共有を図ります。			

	(4)イ 利用促進策 ・市広報紙、センターだより、ホームページ、SNS などあらゆる媒体を活用し、当館や事業の情報を発信することで、集客を図ります。また、地域コミュニティ紙などへの情報提供を積極的に行います。 ・おもしろ何でもチャレンジ（7月）や地区センターまつり（2月）といった全館イベント、ハロウィン（10月）やクリスマス（12月）での集客を通じ、当館を知ってもらうことで利用を促進します。 ・魅力ある自主事業を 47 回、子どもが興味を持つワンパク事業を 16 回開催し、当館を利用していただくきっかけをつくります。			
	(4)キ 本市重要施策に対する取組 ・瀬谷区こども家庭支援課と連携した地域子育て相談（毎週水曜日）を実施することで、地域における子育てを支援します。 ・自主事業におけるスポーツ教室、地域ケアプラザと連携した体力測定、地域と連携したスポーツ交流などを通じて、地域の方の健康増進を後押しします。 ・瀬谷区との「災害時における在宅要援護者のための福祉避難場所の開設の協力に関する協定」に基づき、災害時には、福祉避難所を開設します。 ・区北部で開催される 2027 年国際園芸博覧会に向けて、区南部での機運醸成に資する事業を実施します。			

	(5) 自主事業計画 ・仲間づくり等を通じた地域コミュニティ醸成や、利用促進に繋げるため、幼児から高齢者まで地域の方が気軽に参加できる幅広い分野の自主事業を企画・実施します。 ・あらゆる世代を対象にした自主事業では、音楽と脳のトレーニングを融合した教室や多世代に向けたヨガ教室、地元人気店舗によるお菓子づくりなど、多彩な事業を繰り広げます。(計 47 回開催予定) ・子どもを対象にしたワンパク事業では、地域の人材を活用した講座、近隣の高校生が講師となり子どもたちに科学の楽しさを教えるおもしろ何でもチャレンジなどを実施します。(計 16 回開催予定) ・当館利用者の発表の場である地区センターまつりを 2 月に開催します。			
	(6) 施設及び設備の維持管理計画 ・建築物定期点検 (12 条点検)、施設管理者点検 (市公共施設管理基本方針)、設備保守嘱託職員による巡回設備点検、各種法定点検などにより、不具合箇所を把握します。 ・不具合箇所への対応は、区役所、協会などと協議のうえ、安全性・緊急性を考慮し、優先順を付け、順次、修繕を実施します。 ・令和 6 年度は、市長寿命化工事による引込開閉器等更新工事と防災設備更新工事の実施を予定しています。 ・利用者から指摘されている音楽室照明と利用者サービスの根幹に関わる館内放送設備の健全化について、区役所へ強く要望していきます。			

職員育成	事業計画書 (3)イ 個人情報保護等の体制・職員研修計画 ・市個人情報の保護に関する条例を遵守するため、スタッフ全員を対象に個人情報保護研修を年度早期に実施し、適正に管理します。 ・全スタッフの人権感覚をとらえ返し、高めていくために、人権研修を企画実施するとともに、常勤職員は、他機関主催の人権研修へ積極的に参加します。 ・新採用や経験の浅いスタッフに対しては、OJTやシフト交流により、接遇、実務処理などのスキルを高めます。			
財務	事業計画書 (7)ア 収入計画の考え方 ・従来の利用料金設定を維持しつつ、稼働率の低い時間帯や部屋での自主事業を開催し、参加費を利用料金へ充当します。 ・コピー機や印刷機、ラミネーター等のサービス、自動販売機の設置により、手数料収入を確保します。			
	(7)イ 増収策について ・条例設定利用料金のため、増収は難しい状況にありますが、地区センターまつり等のイベントを通じ、当館の魅力を知っていただき、利用を促進することで、利用料金収入を確保します。 ・将来を見据え、近隣の子どもたちに利用してもらえるように、中学校、小学校、幼稚園、保育園などへの当館PRを積極的に行います。 ・令和5年度以上の利用料金収入を確保することを目指します。			

	(7)ウ 支出計画 ・省エネ、ペーパーレス化、消耗品費縮減など、不断の努力により、支出経費を抑えます。 ・複数施設を運営する当協会のスケールメリットを生かし、経理、庶務労務、設備保全などの管理業務を一元化することで、経費削減を図ります。 ・小破修繕経費に関しては、緊急性・安全性を勘案した優先順位を付け、順次対応していくことで、経費縮減を図ります。 ・設備保守嘱託職員による施設点検を毎週実施し、不具合箇所を早期に見つけることで、予防保全を図ります。			
	(4)カ ニーズ対応費の使途について ・当館の二大事業である「おもしろ何でもチャレンジ」（7月）と「地区センターまつり」（2月）の経費に充当します。 ・その他、利用者ニーズに合致した経費、利用者の安全を確保する経費などを優先し支出します。			
その他 （上記4つの視点以外の項目があれば追記）	・スタッフが互いや働き方を尊重し、全員がいきいきと活躍できる職場づくりを進めます。 ・事務作業の効率化、担当業務の平準化などにより、ワーク・ライフ・バランスを推進します。 ・環境保全などに向け、できるところからペーパーレス化を推進します。			
利用者等の意見				

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載